

令和4年 玄米の被害調査結果

令和4年産米の斑点米混入率は、中通りと会津で平年並、浜通りでやや高くなりました(図1)。

玄米の被害状況から推測された主な加害種は、中通りと会津はカスミカメ類が、浜通りでは大型カメムシ(主にクモヘリカメムシ)が優占していたと推測されます(表1)。

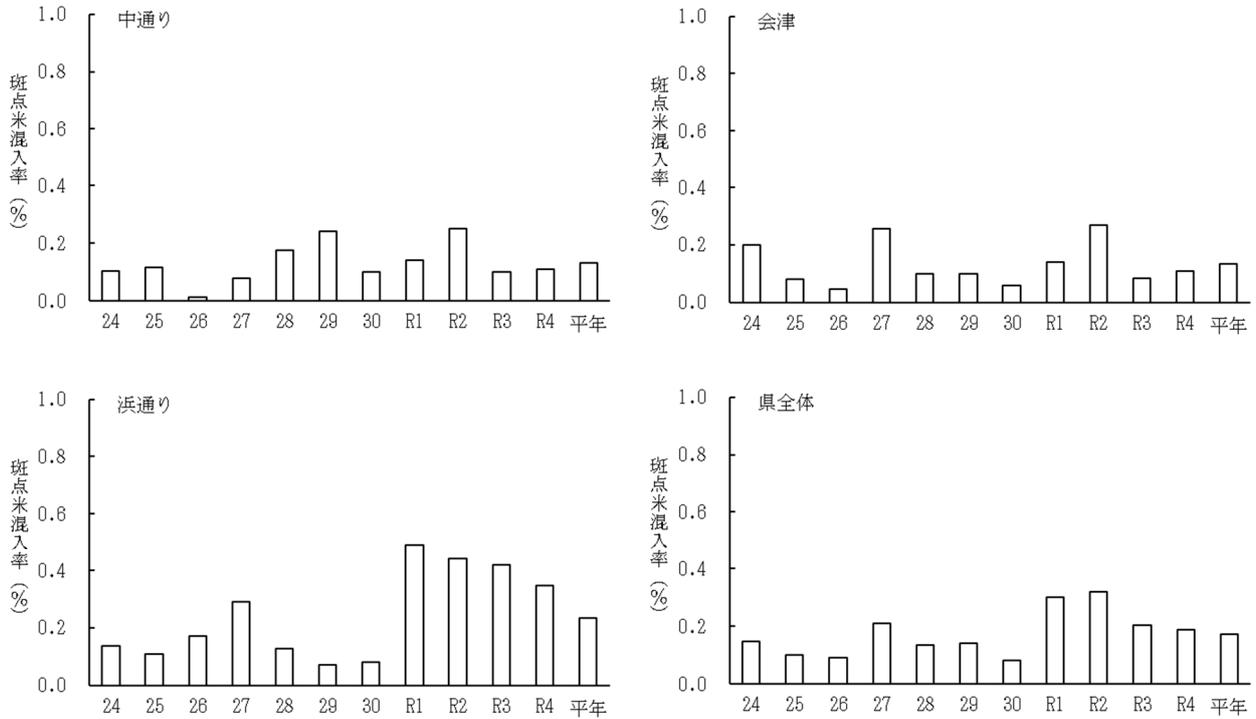


図1 地域別斑点米混入率の年次推移

注) 調査サンプル数 中通り16、会津7、浜通り9

1サンプル当たり玄米500グラム(約20,000粒)調査

表1 玄米の被害状況から推測された斑点米の加害種割合

	カスミカメ類	大型カメムシ
中通り	96.4%	3.6%
会津	80.2%	19.8%
浜通り	38.5%	61.5%
県全体	63.6%	36.4%

注) 調査サンプル数 中通り16、会津7、浜通り9